模型情報8月号　昭和60年8月1日発行（毎月1回1日発行）第6巻第8号通巻72号　昭和59年10月26日第3種郵便物認可
Monthly BANDAI Making Journal
模型情報
8
1985
100yen
1/450 フルスクラッチ
by OGAWA MODELING アーガマ
プリティフィギュア
by 石井和夫 ダーティ・ペア
仮面ライダーV3
SF小説 スパイラルゾーン
表紙原画・永野 護

August

カット・水縞とおる

MJ FORUM

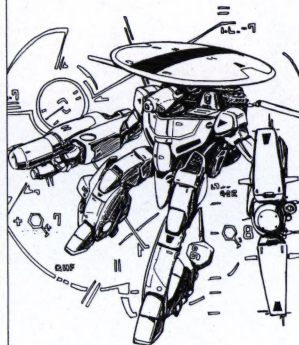
好調MJマテリアルの次期企画はモモちゃん

「機動戦士Zガンダム②」や「魔法の天使クリィミーマミ」等、MJマテリアルとして続々と模型情報別冊が発行されていますが、さて次期企画を教えちゃおう。

今準備中なのはエモーションのオリジナルビデオ・「魔法のプリンセス・ミンキーモモ／夢の中の輪舞」のストーリィブック。発行は秋になる予定。

次に、このページでも紹介している、カーモデラーのグループ"ガレージ64"のメンバーの作品集。タイトルは「パーキングエリア」にする予定だ。

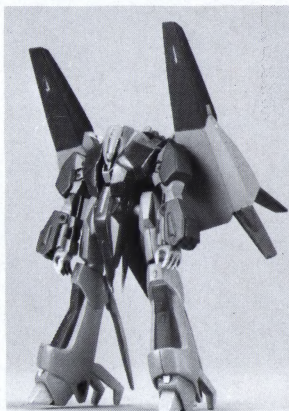
彼らが、今まで活躍してきた集大成としたい。夏の銀座伊東屋へ出展する作品も収録したいので発行は10月頃になる予定。どんな本になるか楽しみにね。特にカーモデラーの皆さん。MJマテリアルに注目です。

バルキリー・ショック今再びバンダイより！

メカファンのド肝を抜いた変形システムで一世風靡したバルキリーのプラモデルが今再びバンダイより登場することになった。

マクロスの魅力は、バルキリーに代表されるメカニックスの魅力と思うが、バンダイが挑戦するからにはマクロスの魅力を最大限引き出せる様、スタッフ一同、現在準備中なのでお楽しみに。

今月は、まずVF—1Jアーマードバルキリーと、VF—1Jバトロイドバルキリーの2点が登場する予定だ。

来月以降も順次発売されていく予定なのでヨロシク。

メッサーラがスケール変更1/250から1/220

先月号で、メッサーラのスケールは1/250と発表したばかりなんだけど、何とスケールが1/220に変更になってしまった。見本市での発表やカタログにも1/250で記載されていた様に、最初企画された時点では1/250だったんですよー。

何故、1/220になったのか、問い合せたところ、1/250では少し小さすぎるからサイズアップしたという事でした。

1/250でも1/220でも、小売価格に影響はないという事はで、大きくなった分得とも考えられますね。ただ、過去のキットと組み合せてディオラマを楽しもうという人には、ちょっと不満が残るサイズですね。

Z（ゼータ）だからZ（ゼット）スケールの1/220にしたんだという人もいますが……。

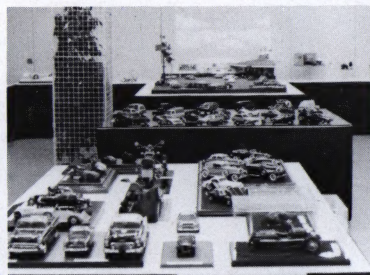
それから、MSVシリーズがZに登場したという事で、今月よりドドッと、Z仕様のMSVが登場しましたが、今後も水中ザクとジムスナイパーも準備中である。

今月の表紙を飾ったハンブラビは、もちろんキット化の予定があるけど、まだ当分先の話しになりそうだ。それにしてもZガンダム強し！ですね。

アダルトカーモデラーの集いが銀座伊東屋で

アダルトカーモデラーの集りとして活動を続けている「ガレージ64」と「スケールカーコレクションクラブ」が、85年夏（8月21日～26日）オートモデラーズギャラリー85を開催することになりました。

少年の日の夢を持ち続けている男達が、情熱を傾けて製作した力作が、約150点、一堂に集ります。大人のホビーとして1/43の車から、1/6のオートバイまで、クラシックカーからレーシングカーまで、それぞれ思い入れたっぷりのミニチュアモデルに、きっと男のロマンを感じとっていただけるでしょう。

会場は、銀座・伊藤屋ギャラリー（9F）10時～夕方6時まで。

1/6フィギュアシリーズ第1弾はケイ＆ユリ

先月号の見本市レポートでも発表しましたが、フィギュアシリーズは1/6サイズで進行中だ。そしてその商品化第1弾は7月15日より放映開始となった「ダーティペア」のユリとケイに決まりです。原形は、もうおなじみのフィギュアモデラー、石井和夫氏。今月号の8ページをご覧下さい。彼の作品がそのまま商品化されます。

商品内容は、ソフトビニール製で組み立ても、塗装も一斉必要ない完成体。服は着せかえができるのです。値段はまだ未定だけど、きっと納得いくものにしますよ。

ニュータイプな「テラホークス」豪華ムック

NHKテレビで毎週火曜の夜7時30分から放送中の「地球防衛軍テラホークス」の豪華ムックが、角川書店のザ・テレビジョンから、7月20日に発売された。

全116ページの内カラーが64ページ。シリーズ全39話に登場するメカニックおよびゲスト・キャラの紹介、全話のストーリーとスタッフ、そして代表プロデューサーのジェリー・アンダーソンやSFXマンのスティーブン・ベッグ、パペットメーカーのリチャード・グレゴリーたちへの独占インタビューを掲載。さらに、8年前に安彦良和の作画によってアニメとして企画された「テラホークス」の全容も紹介してある。これ一冊で「テラホークス」がすべてわかる。定価890円。

ファンコレの「宇宙刑事」シリーズ完結!!

「宇宙刑事シャリバン」からスタートしたファンタスティック・コレクションの「宇宙刑事」シリーズが、「宇宙刑事ギャバン」に続いて、「宇宙刑事シャイダー」も発売され、3部作が完結した。

前2作同様、表紙は光輝くメタリックボディのコンバットスーツだが、内容は「ギャバン」の基本設定、「シャリバン」のインナー・ストーリーに対し、代表的な4人の監督（沢井信一郎、小西通雄、小林義明、田中秀夫）の傑作エピソードを中心に構成されている。もちろん、アニーの写真も満載で、全エピソードガイドもバッチリですぞ（朝日ソノラマ刊・定価720円）。なお、シリーズ完結を記念して、徳間書店からもムックが出る予定。

宇宙刑事スタッフの実写版「ゲゲゲの鬼太郎」

8月5日、「ゲゲゲの鬼太郎」が全国のお茶の間にやってくる！

しかも、アニメではなく、実写となってである。

フジTV系、月曜ドラマランドで放送されるのだ。

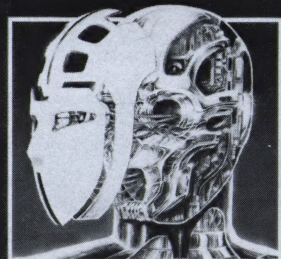
これを作るのは「宇宙刑事シャイダー」や「宇宙刑事シャリバン」を作った東映のスタッフで、写真で見る通り、鬼太郎もマンガそっくりなら、ねずみ男に竹中直人、子なきじじいに赤星昇一郎、砂かけババアに由利徹、目玉のオヤジももちろん登場する。

妖怪も「宇宙刑事」のレインボー造型がてがけ、ぬらりひょん、あみきり、おっかむろ、一反もめんと水木しげるのマンガから飛びだしてきたようなキャラばかり。夏、ちょっぴり笑ってゾーッとしたい人は、このTVにキメッですね！

なんと応募2千通！ゴジラ新作ストーリー

昨年12月に公開され、大ヒットとなった東宝の新作「ゴジラ」だが、東宝はこの特撮映画の路線を続けようと、次のゴジラ映画のためのストーリー募集を一般から広く行なった。しめきりは、6月10日だったのだが、予想をこえる反響と、応募数を数え、実にその集まった映画用の原案ストーリーは、2025通にも達したのだ。

今、東宝の審査委員は、原稿を審査しているところで、発表は当初の予定の8月では間にあいそうになく、秋になる予定だという。

巾広い層から集まったアイデアを結集して、どんなゴジラ映画ができあがるのか。強力な敵怪獣が出るとしたら、どんな形皆、楽しみに秋の発表をまとう!!

人気デザイナー、野口竜と出渕裕のデザインアート集

「宇宙刑事」シリーズや「戦隊」シリーズなど、東映特撮アクション物で活躍しているデザイナー、野口竜さんと出渕裕さんのデザイン・アート集が続けて朝日ソノラマより発売された。

現在、「巨獣特捜ジャスピオン」のコンセプト・アーティストとして人気のベテラン野口竜さんの「野口竜の世界／東映特撮TV映画・悪の系譜」（定価2千円）は、デビュー作の「レッドバロン」から「ジャスピオン」までのロボット、モンスター、敵キャラを厳選して収録されている。

野口竜ファンでもある出渕裕さんの「NEOS」（定価2千円）は、「科学戦隊ダイナマン」より、最新作「電撃戦隊チェンジマン」まで、たずさわった実写作品のモンスターや献キャラのデザイン画を収録。さらにオリジナル描き下しが20数点もあり、ブッちゃんファン待望の書となっている。うれしいね♡

ネコ耳が可愛い「チェンジマン」のアハメス

MOBILE SUIT
GUNDAM Z

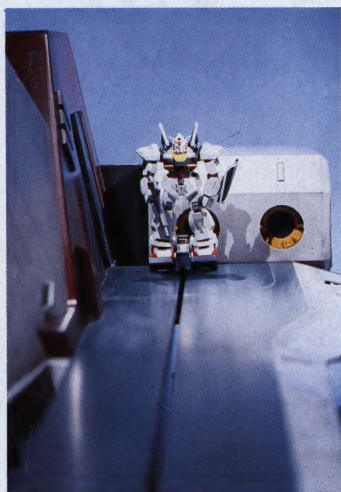
1/450 SCALE FULL SCRATCH

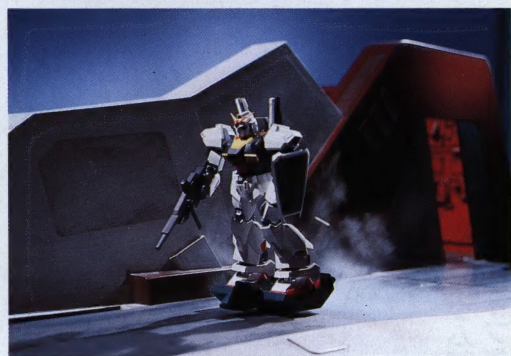
アーガマ

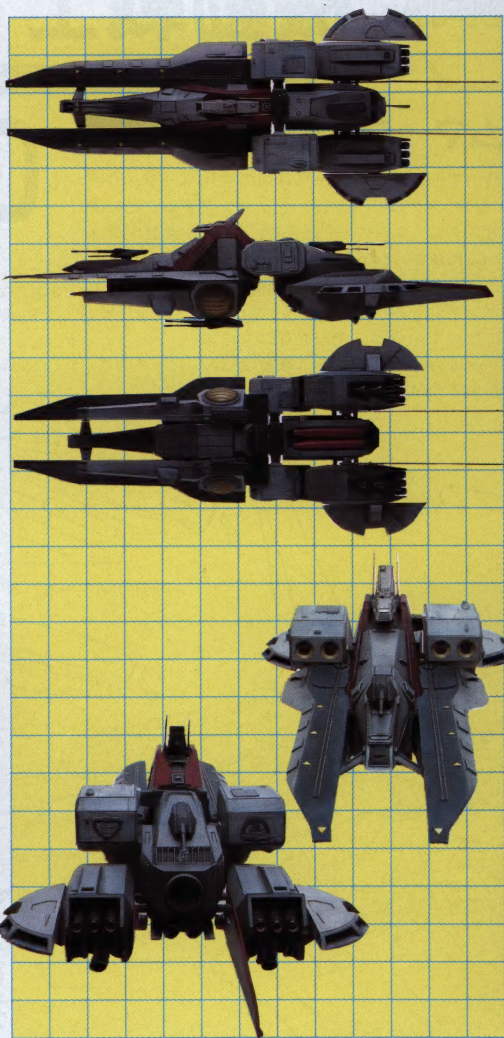
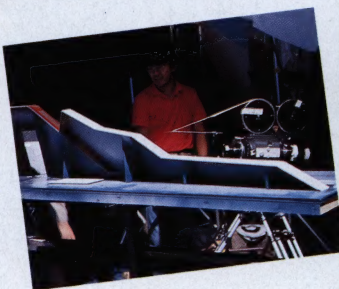
By OGAWA MODELING

アーガマの全長を250m（ホワイトベースと同じ大きさ）と仮定するとスケールは1/450になる。

撮影／高瀬ゆうじ（アーガマ）
取材協力／コミックボンボン

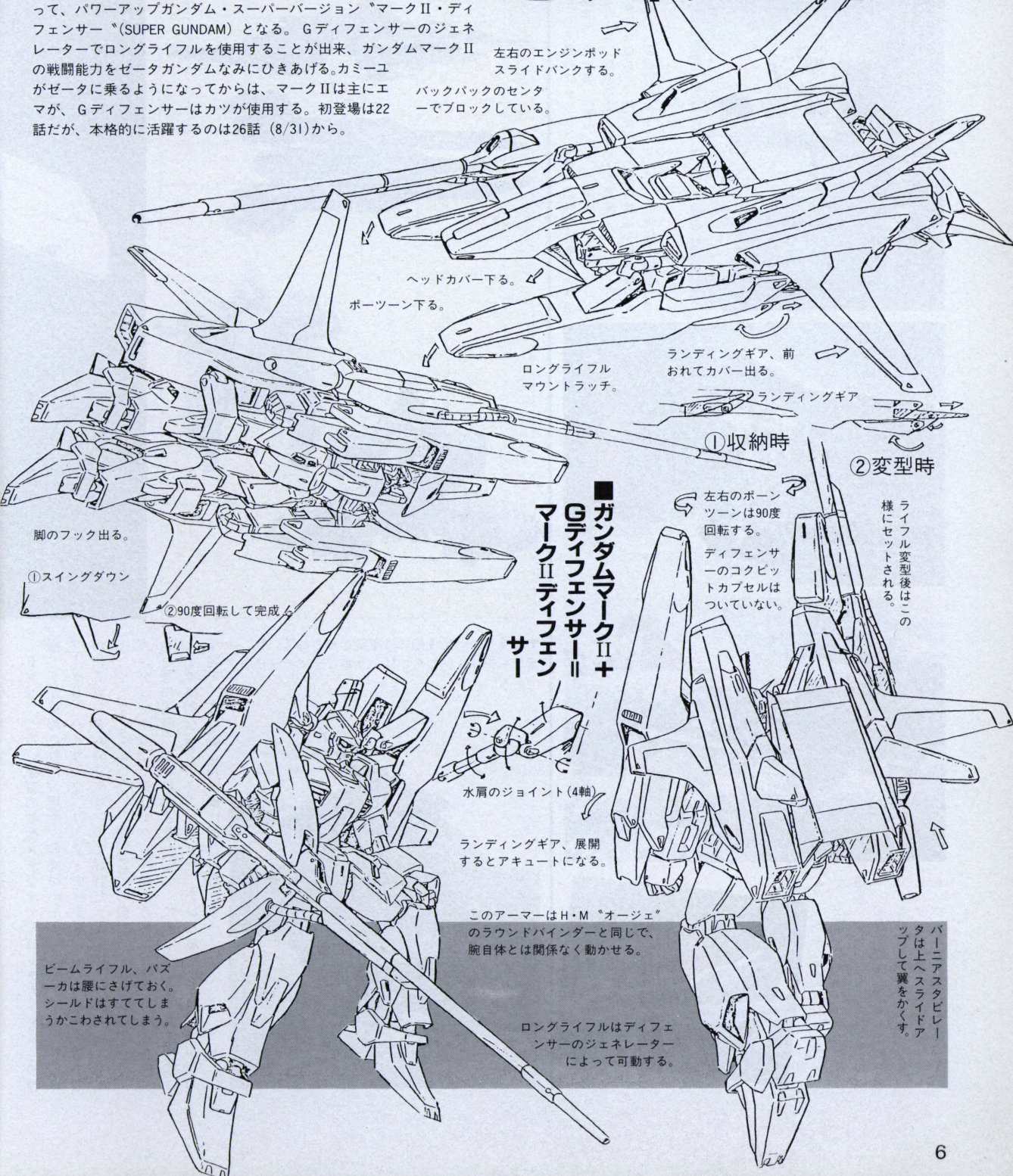
CM ゼータガンダム レポート

〈Zガンダム・CF製作スタッフ〉製作・新映株式会社、特撮・白熊栄次(操演)、見米豊(人形アニメ)、美術・マーブリング・ファイン・アーツ　松原裕志、監督・大島繁

操演の白熊栄次氏は長年、円谷プロの特撮番組を手掛けた大ベテラン。東映の"巨獣特捜ジャスピオン"の特撮も担当している。

▲アーガマのカタパルト・デッキから出撃するガンダムマークIIの撮影シーン。デッキのスケールは1/100設定。全長は1・5mもある。製作はこのCFの美術を担当したマーブリング・ファイン・アーツのスタッフによる。

6月28、29日。東京の教配スタジオで、"ゼータガンダム"の特撮CFが撮影された。現在、発売中の1/144と1/100スケールのマークII、ハイザック、リック・ディアス、ガルバルディβのほかにZガンダムのマテリアルで好評だった小林透氏の100式（1/100）や『コミックボンボン』(講談社)の協力で速水仁司氏のゼータガンダム、オガワモデリング製作によるアーガマ（どちらも同志8月号に掲載）もかりだされた。とくにアーガマはABS樹脂による本格的なSFXミニチュアだ。テレビ放映は7月中旬からの予定で、15秒編と30秒編にまとめられる。

▼艦橋とメガ粒子砲には電飾が施されている。オガワモデリングならではの見事なディテーリングである。

ガンダムマークII用 Gアーマー
Gディフェンサー

ゼータガンダムに続いて、ガンダムマークII用の強化パーツ、Gディフェンサーが登場する。ガンダムマークIIとドッキングすることによって、パワーアップガンダム・スーパーバージョン〝マークII・ディフェンサー〟(SUPER GUNDAM) となる。Gディフェンサーのジェネレーターでロングライフルを使用することが出来、ガンダムマークIIの戦闘能力をゼータガンダムなみにひきあげる。カミーユがゼータに乗るようになってからは、マークIIは主にエマが、Gディフェンサーはカツが使用する。初登場は22話だが、本格的に活躍するのは26話 (8/31) から。

■Gディフェンサー　変型ドッキングシステム、サイドビュー

可変モビルアーマー
ハンブラビ

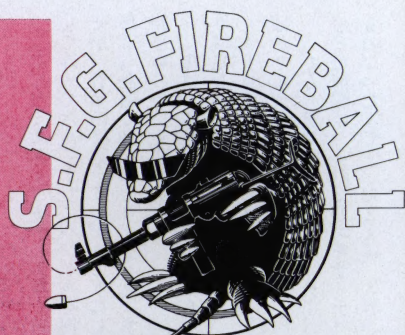
表紙の永野護さんのセルイラストのメカは、第31話(10/5)から登場する可変ＭＳ〝ハンブラビ〟です。

Figure Figure Figure Figure Figure

ダーティペア DIRTY PAIR

原型製作
石井和夫

ダーティペアの商品化が決定しました。石井氏の原型がそのまま商品化されます。サイズは1/6スケールです。

S.F.G. FIREBALL

《STAFF》

WRITTEN AND DIRECTED BY
KAZUNORI ITO

CHARACTER DESIGNED BY
AKEMI TAKADA

ILLUSTRATION BY
HIROYUKI KITAZUME

MECHANICS DESIGNED BY
RYO SAKUMA
JUN KATO
KUNIO OKAWARA
KAZUHISA KONDO
HIROYUKI KATO

PRODUCED BY
SATOSHI KATO

CO-PRODUCED BY
KEN SUEKAWA

《CAST》

RIN KAZUMI
GIG STRATTEN
YUJI IZUBUCHI
TAKESHI WAKANA
NORMAN SYNCLEA
MARDOC HIRATA
JEREMY GRY
AKIO KATO
YURA IZUBUCHI
MARTHA GRAVATTE

Scene 5
遭　難

「ミスターワカナ？」
ホノルル空港で通関手続きをすませたばかりの若菜が、女性の声に呼び止められて振り向くと、彼よりも背の高い女が、道に迷った子供のようななさけない顔をして若菜を見ていた。
「そうだが……」
「よかった！　研究室を出るのが遅くなったから、もう、行きちがいになってるかと思

いました。初めまして、私、マーサ・グラバットです。パティと呼んでください。お逢いできて、ほんとによかった！」 マーサは心底うれしそうに、流暢な日本語でそう言うと若菜の前に立って歩きだした。「こっちです。車を用意してありますから」

若菜はそんな彼女に苦笑しつつも、好感を持った。アメリカ人特有の開放的な性格もさることながら、今では絶滅寸前の実用的なメガネを使っていることが、彼の気にいったらしかった。

空港を出た小型の日本車は若菜とマーサを乗せて、ニミッツ・ハイウェイを東へ向かった。そのまま9マイルほど走ると、白い砂浜とヤシの木の向こうにダイヤモンドヘッドをのぞむワイキキビーチ。そこから、北へ約3マイルほど入った丘の上にハワイ大学、マノア・キャンパスが広がっている。

キャンパス内で開かれる〝ゾーン対策日米合同会議〟に出席するために、若菜は、ここオアフ島までやって来たのだった。

かすかに潮の香りをふくんだ風が心地よかった。そして何よりも、空の蒼さ！ ぐるりと四方を見まわしても、すべての空が深い青であるというごく単純なことが、若菜にはひどく新鮮だった。前線基地にいる限り、ラベンダー色にゆらめく〝ゾーン〟の空が、どうしても眼に入ってしまうのだから無理もない。

「みんなミスターワカナの到着を首を長くして待ってたんです」 ハンドルを握るマーサが、若菜の反応をうかがうようにして言った。「会議に出られたら、きっと、すごい質問ぜめにあいますよ」

「俺は学者（スカラー）じゃない。兵士（ソルジャー）だからな。あまり満足な答えはできんと思うが」

マーサはそんなことは関係ない、といわんばかりに大きくかぶりを振った。

「でも〝ファイヤーボール〟チームが持ち帰った情報は、それほどエキサイティングなものだったんです。たとえば、これ……」

マーサにしてみれば、若菜はバグと遭遇して初の生還をとげた現代のヒーローだった。ヒーローと一緒にいるということで、彼女は少なからず興奮し、おしゃべりになっているようだった。マーサはカーステレオの下に配置されたキーパッドを操作して、ダッシュボードの6インチCRTモニターに一枚の写真を呼び出した。

「たとえば、これ……なんだか、わかります？」

「電子顕微鏡（EM）写真だということだけは、わかる」

「ブロンコのランディングギア。バグにやられた断面を拡大したものです。これで見ると、あなたの報告書にあるとおり、使用された兵器がレーザーではないことがはっきりします。なくなった部分は、まずまちがいなく気化したんです。それから、これ……」

次にモニターに写し出されたのは、宇宙空間をなめる炎の舌だった。

「太陽フレア？」 若菜がつぶやいた。

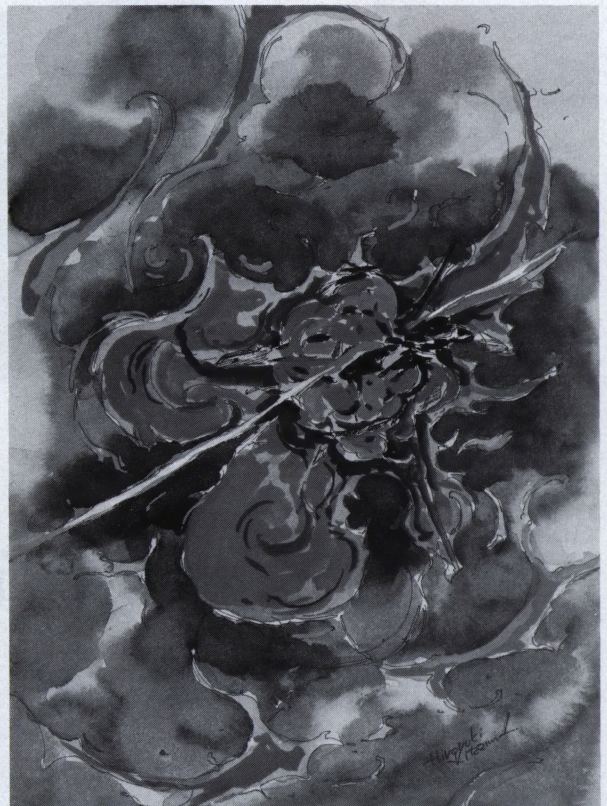
「と思うでしょう。でも、これが地球だといったら、信じますか？」

「まさか……」

「でしょうね。私たちも最初はそうでした。おっしゃるとおり、どう見ても太陽フレアにしか見えませんから。しかし、これは高度300キロの軌道に浮かぶスペース・テレスコープが撮影したまぎれもない地球の写真なんです。場所はかつての日本海のあたり。つまり――」

「〝ゾーン〟か……」

マーサは小さく頷いて、さらに写真を変えた。モニターに三本角を発光させた戦車タイプのバグが写し出された。

「そして、この光……この光とさっきの太陽フレア状のものとは無関係ではありません。私たちの研究スタッフは、これがプラズモイド砲ではないかと考えています。だとしたらそれの意味すること、わかります？」

もちろん、若菜にはわかっていた。

1980年代の半ばにスターウォーズ構想が提唱されて以来、人類は積極的にビーム兵器の開発を推しすすめてきた。が、実用にこぎつけたのはX線レーザーまでであり、いかにして小型で高出力のレーザー兵器を開発するかが、現在の課題といえた。プラズマ・ビーム兵器に関しては、今だ実験室レベルでしか存在せず、それは、人類にとって、次に来るべき未来の兵器だったのである。

マーサが言うように、バグの使用する兵器がプラズモイド砲だとしたら、対〝ゾーン〟戦に徹底的な変革を必要とする。それほど重大な問題なのだ。

まず第一に、人類はプラズモイド砲に対するカウンターウェポンを持っていない。

第二に、プラズモイドは大気中で拡散してしまうレーザーと違って、極めて安定性が高い。円錐形の磁場を100メートルの距離で加速されたプラズモイドは、800メートル毎秒のスピードで飛んでくる。

第三に、プラズモイドの強力な磁場を考えると、自分で自分を誘導する可能性がある――つまり、射出されたプラズモイド自身が自からの進路に金属性の標的を見い出して突進するのだ。

プラズモイド砲。それはおよそ完璧な対戦車兵器あるいは対艦兵器だといえた。

若菜は、前回の戦闘で全員が生還できたのは偶然の幸運以外の何ものでもなかったことを知った。いや、あるいは、ヒラタが言ったようにバグは手かげんしていたのか？ だとしたら、なぜ？

「〝ゾーン〟の深部で、いったい、何が起こっているのか？ それが私たちの最大の関心事です。それと同時に、バグを操っているのは誰なのか？ ミスターワカナは、そのことを考えたことがありますか？」

「ちょうど、今、考えていたところだ」

若菜の言葉にかまわず、マーサは話しをつ

づけた。

「一部には、特に政治家ですが、バグは共産主義陣営の新兵器ではないか、という人もいます。でも、私はそうは思いません。だってそうでしょう。もし、バグが彼らのものだったら、いつまでも〝ゾーン〟の中でうろうろしてるわけがない。一気に自由主義世界に攻めこんでくるはずです」

「じゃあ、なんだ？」

「私たち学生の間では、地球外生物、つまり……」マーサがクスッと笑った。「宇宙人のしわざだ、という説がけっこう有力なんですよ」

あまりの無邪気さに若菜も笑いそうになってしまった。

「なるほどな……だが、残念ながら、我々はパルプマガジンの世界には住んでいない。バグを操る者の正体を知るためには〝ゾーン〟そのものを、もっとよく知らねばならない、そんな気がするな」

「それについては、私も同意見です」

車はアラ・ワイ運河を越えてワイキキに入ろうとしていた。

「スミヤ仮説を御存知ですか？」少しの間、黙っていたマーサが口をひらいた。

「いや、知らない。スミヤというのは日本人か？」

「そうです。仮説というよりは単なる思いつきに近くて、学界ではほとんど無視されています。それに……」

マーサは前を走るハワイ大学行きのバスを追い越すために、ちょっと言葉をとぎらせた。

「それに、発表された場所がサイエンス・フィクションの専門紙だったから、余計そうなんです。でも、私には、なんだか、ひっかかるんですよね」小さな子供が考え考え、言葉を話すように、一語一語、区切っていって、マーサはつけたままになっていたモニターのスイッチを切った。

「どんな説なんだ？」思わず、若菜にそう言わせるだけの真摯な態度がマーサにはあった。

「〝ゾーン〟の中では時間の経過が、一定ではない……そういうんです」

「ふむ……つまり、こういうことか？〝ゾーン〟のある場所では時計がぐるぐる回り、別の場所では、一日かかっても一分しか進まないとか……」

「もっと根本的な問題です。たとえば、あえて時計を例にとるなら、最も正確な時計である原子時計はアンモニア分子の振動の周期を時間の標準にしています。ところが〝ゾーン〟の中では、その振動周期が場所によって違ってくると――」

「待て！ 振動周期が変化したら、その物質そのものが……」若菜は言いかけて口をつぐんだ。

そして、マーサが快心の笑みを浮かべて言った。

「それで〝ゾーン〟内物質の変容を説明できませんか？ それと、私たちの物理法則が役にたたないことも」

前方にマノア丘陵に建てられた広大なキャンパスの一部が見えてきた。

「しかし、この仮説は、なぜそうなったかあるいは、そうなるか、については一言もふれていません。今のところ、その答えはまだどこにもないのです」

若菜がハワイでの会議に出席している間、〝ファイヤーボール〟のメンバーには特別休暇が与えられた。いわば〝ゾーン〟から情報を持ち帰ったことに対するボーナスだ。

麟とギグは新宿にいた。

麟は待ち合わせ場所に指定した喫茶店で、先に来ていたギグを見つけることができなかった。男っぽい恰好はそのままだが、パンツスタイルでネクタイをしめたギグは、まるで別人のように見えたからだ。

ただただ呆然と彼女を見つめる麟を前にして、ギグは真赤になって照れまくり、少しすると、なぜか麟が不機嫌になった。

ギグが希望する恰好――彼女はしつこいほどネクタイをしめてこい、と言ったのだった――で出かけてきた麟は、二人が、ほとんどペアルックになっていることに気づき、それがひどく気はずかしくて、へそを曲げてしまったのだ。

こうして、二人の初めてのデートは、いささか不幸なスタートをきった。

が、タンポポのコーヒーをすすりながら、とりとめもないことを話しているうちに、二人とも、そんなことを忘れてしまったようだった。

それから二人は映画館でアメリカ製のコメディを見て、ゲームセンターに入った。３Dのサーキットレース・シュミレーションを6回続けて、麟は6回目でようやくギグに勝つことができた。

デパートの玩具売場とペットコーナー、キャンプ用品売場で時間をつぶし、そろそろ夕食にしようか、というところでギグが、「晩メシは　オレがおごる！」と言いだした。

麟はこの時になって、初めてネクタイの意味を知った。

ギグが彼を連れて行った場所は、副都心にあるホテルの最上階。ノータイでは入れないレストランだった。ギグは前もって、このことを計画していたに違いない。

が、どうひいき目に見ても、二人には場違いな場所といわざるをえなかった。堂々たるオペラの舞台にポツンとロック歌手がまぎれこんだみたいで、麟とギグはどうしてもまわりの客から浮いてしまうのだ。

ギグがほんのりと頬を上気させ、うっすらと汗をうかべているのは、食前酒に頼んだホーセスネックというカクテルのせいなのか、それとも、緊張のせいなのか、麟には判断がつきかねた。

料理はどれも最高だった。今ではぜいたく品となった材料をふんだんに使った様々な料理は会話をはずませ、二人はすっかり自分たちのペースをとりもどした。

とにかく、ギグがオーダーしたコースは麟の週給が軽くぶっ飛んでしまうほどの豪華さだったのだ。

デザートが運ばれてくると、麟は小声でそっとギグにたずねた。

「支払い、大丈夫か？」

「心配ないって。あぶく銭が入ったんだ」

ギグは笑って答え、黒すぐりのシャーベットをつきながら、伏目がちに言った。

「それよりさ……このあと、どうする？」

「うん、加藤さんの実家に泊めてもらうことになってるんだ」

「そっか……あのさ……実はな……」

「なんだよ？」

「いや、その……はは、恥しいな」

ギグはますますうつむいて、麟がハッと息を飲む気配があった。ギグが顔を上げると、麟が真っすぐに彼女を見つめていた。そして押し殺した声でいった。

「ギグ……やっぱり、お金、たりないんじゃないのか？」

「ち、ちがうよ！」つい、声が大きくなった。ギグはあわてて声を小さくした。「お金は充分あるんだってば！　そうじゃなくてオレが言いたいのは……もし……もし、よかったら今日は――」

「おまえ」麟がギグの次の言葉をさえぎった。「まさか、由良のガイドを引き受けたんじゃないだろうな!?」

ギグが黙った。

「あぶく銭って、ガイド料のことじゃないんだろうな？」

「……」ややあって、ぽつりとギグが言った。「……ちがうよ」

「……ならいいんだ。今の〝ゾーン〟は未訓練の人間をつれていくには危険すぎる。それがわかってるなら、いいんだ。……ごめん。つまんないこと言って、悪かった」

二人は新宿駅で別れた。

ギグは改札を通る彼を見送り、その名を呼んだ。

「麟んっ!!」

麟は彼女の方を振り返り、大きく手を振って人混みの中に消えていった。

それから、ギグは夕食をとったホテルに一人でもどり、その一室の窓辺に立って外をながめた。

遠く雷鳴が轟き、雨が降りだした。

ギグは窓辺を動かなかった。が、その眼は何も見ていなかった。

激しくなった雨が窓ガラスを叩いた。

その部屋にはキチンとメイクされた清潔そうな二つのベッドがあった。

ガラス窓に写った自分に向かって、ギグが吐息まじりに囁いた。

「ばかだな……」

その囁きは、そう聞きとれた。

しばらくすると、ギグはベッドサイドの受話器に手を伸し、チェックアウトするためにフロントを呼びだした。

その日の彼女は、近く自分の身に起こることを予感していたのかもしれなかった。

「よし、いいぞ。そのままの姿勢で少しずつ出力を上げるんだ！　ほらっ、左が下がってるじゃないか!!　ボケッ、何を見てる!!」

「そんなに言うんなら、出渕さん、手本を見せてくださいよ！」

危っかしく空中に静止した超小型ホバリングクラフト〝ボーファイター〟の操縦席で、麟が情けない声を上げた。

ギグとのデートから二日後のことである。

この日、夕刻までには若菜も、この前線基地にもどる予定だった。

「実際、使えるようになるとは思わなかったねぇ、どうでもいいけど」

地上10メートルたらずの所を、そろりそろりと移動するボーファイターを見上げて、ジエレミーが、半ばあきれたように言った。

麟がオシャカにしたモノシードの代用品として、彼らは中隊からスクラップ寸前のボーファイター三機をゆずりうけ、それをみんなでよってたかって一機に再成してしまったのだ。

ボーファイターを見上げる一同の前に、モノシードで台車を引いたヒラタがやって来た。

「お、来たな。資材班の連中、すんなり出してくれたか？」モノシードにつながれた台車をはずすのを手伝いながら、加藤がいった。

「SFGがこれを何に使うのか、それに興味を持ったらしい」

「ちゃんと説明したんですか？」と、出渕。

「いや、そういう面倒なことはせん」

コンパクトに設計されたボーファイターは長時間の作戦行動には不向きだった。そのため、作戦展開地点まで、これを輸送してやる必要があった。そこで、マッドレミングに台車を取りつけて、ボーファイターを〝ゾーン〟へ運ぼうというのが彼らの考えだった。

「あとは麟が早くあいつに慣れることだな」

加藤がそう心配するまでもなく、麟は目に見えて上達していた。

ついさっきまでの操縦とはうってかわって上昇し、降下し、旋回し、今では操縦を楽しんでいるようだった。

「へ、いいカンしてらぁ。チーフが帰ってきたら、たまげるぞ。どうでもいいけど」

「チーフだけじゃなくて、ギグもびっくりすると思いますよ」ゆっくりとボーファイターを着陸させて、麟がいった。「こんなことされちゃ、オレの商売が上がったりだって」

「ちがいない。そういえば、彼女、まだこっちにはもどってないのか？」

「いや……」それまで黙っていたノーマンが口をだした。「オレ、見たんだ……今朝早く、Dモニターで出ていった。それが……おまえの妹と一緒にだ」

「由良と!?」

「言おうと思って忘れていた。もっと、早く思い出すべきだった……」

すでに、二時を回ろうとしていた。

長すぎる……

麟は全身の血が逆流するような焦燥感を覚えた。が、行動したのは出渕の方が早かった。

「加藤さんっ！」

「気持ちはわかる……だけども、出撃は許可できない」

「でもっ！」

そのとき、サイレンが鳴った。

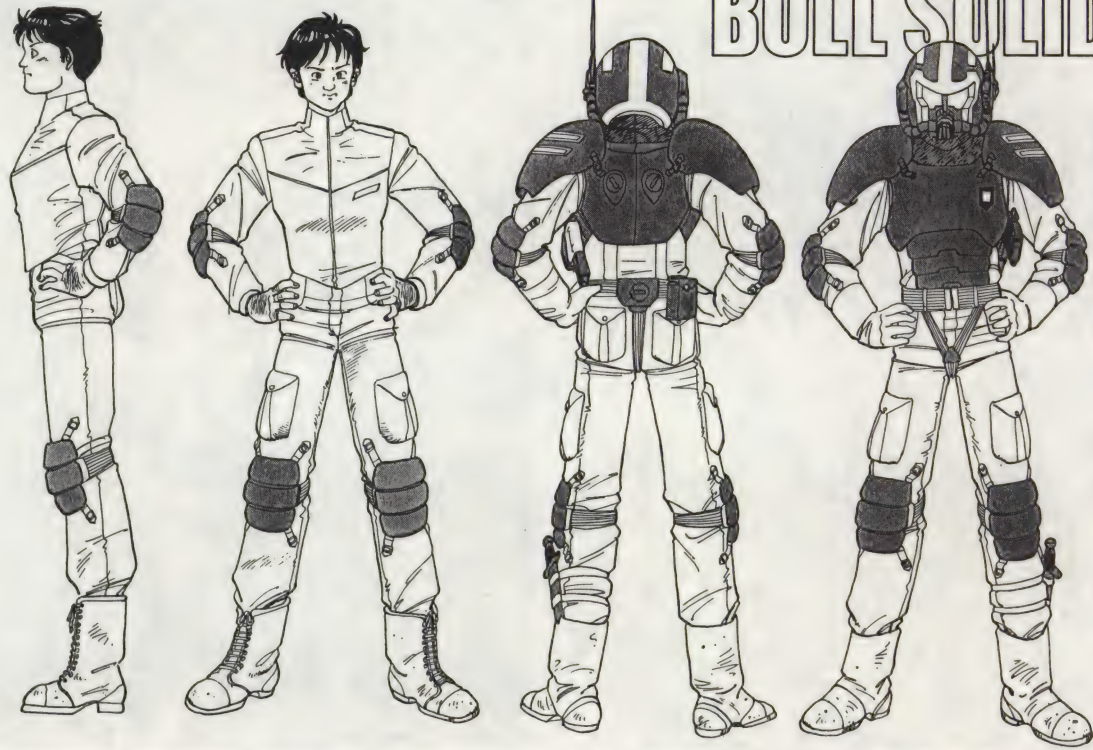
『緊急通達、〝ゾーン〟内・旧S市郊外でリカオン中隊・バグと交戦中との情報あり、

全SFG分遣隊、および……』
――出撃命令だった。
「間がいいな」　加藤はむしろホッとしたようにそう言って出渕の肩を叩いた。「全員出撃準備！　急げっ!!」
「麟！　ボーファイターを台車に固定したら、オレのマッドレミングに乗れっ!!」
「了解！」
瞬間、麟はかつて見たことのない出渕の表情を見た。それは、とてつもない怒りとともに、深い悲しみを秘めた阿修羅像のそれだった。

「あなたには私を守る義務があるはずよ」
静かな声だった。静かな声であることが、かえってギグをいらだたせた。ギグは由良に答えず、Dモニターの操縦に専念した。
限界線(ターミネーションライン)からわずか数キロの地点でバグに出会ってしまうとは！　バグは〝ゾーン〟のもっと深い所に現われるのではなかったのか？　それがギグの唯一にして最大の誤算だった。一匹の蛾に似たバグが、捕えたネズミをもて遊ぶ猫のように、Dモニターを執拗に追いまわしていた。
限界線まで、わずか数キロなのに、逃げきれないのだ。これ以上はギグの体力が持ちそうになかった。あとは運にまかせるしかない。
〝バグはレギオンから逃げる……〟　麟はそういっていたはずだ。
うまいタイミングでレギオンを生み出すことができれば……チャンスはある！
「手伝うわ」　思いもよらなかったことを由良がいった。
「だめだっ！」
ギグが制止しようとしたとき、由良は後部ハッチをはね上げて、銃座につこうとしていた。そして……彼女は全方位に広がる〝ゾーン〟の風景に恐怖した。めまいに似た感覚が彼女を襲い、つかの間、意識が空白になった。ギグがDモニターの中に由良を引きずり降し、彼女はあやうく正気をとりもどした。
「〝ゾーン〟を甘くみるんじゃや――」
言いおわらないうちに、すさまじい衝撃がDモニターを突き上げた。由良の自我を反映して〝ゾーン〟の大地が悪意に満ちたレギオンを吐き出したのだ。
それは、Dモニターを飲み込もうとするドス黒い大波だった。さらに、その波の向こうに、ファイバーセンサーを揺らめかす、バグがいた。
考えている余裕はない。ギグは操縦席にもどり、Dモニターを加速した。
が、黒い巨大な波は腸壁のヒダを思わせる小突起をぞよぞよとざわめかせながら、今しもDモニターの上に覆いかぶさろうとしていた。

つづく
次回〝螺旋(スパイラル)〟

対ゾーン用プロテクトスーツ〝ブルソリッド〟

BULL SOLID

雲を描く

ジオラマ模型にもディスプレイにも雲を描く事がありますが、映画の特撮ほど雲を描く必要がある仕事も少いでしょう。特に空中戦モノや海戦モノではこの必要性が倍加します。

ところが必要性に反比例して雲を描く画家は極めて少いのです。

雲の描き方は絵画の様に、デッサン、そして採色と云った勉強方法もないし、ほとんど順れで描いてゆくので、順れる機会がどんどん少くなっている今では、ますます少くなってゆくのではないでしょうか。その様な道を志す人達の育成機関が必要なのかも知れません。

絵画史でも雲と波は無視された様に描かれていません。ジェリコー、クールベー、ウイリアム・ターナーなど海を描いた画家はいますが、筏とか船とかが主体であって雲と波を描いたとは云えません。特に印象派以后の近代絵画では雲は無視されて来ました。

しかし映画の特撮にはどうしても必要なのです。撮影所の大ステージの青く塗られたホリゾントにスプレーガンに白い絵の具を入れて立ち向かう時は一種の快感です。

ご存じの様に雲にはいろんな種類があります。しかし私はそれにはあまりこだわりません。例えばラバウル航空隊の映画だから入道雲を描かねばならない、とは思いません。入道雲の形を借りて、戦雲を描きます。戦雲と云う雲はありませんが何とかそう云う雲を描こうとするのです。戦い終った雲は夕焼け雲ではなく哀愁雲なのです。雲の生命感を求めて描く、と云ったら大げさですがでもそんな感じです。そして何時でも描けた！と思う事がないのです。あっちが気になり、こっちが気になりのままスケジュールに追われて撮影は終るのです。あの雲をよくぞここまで撮ってくれたと心の中でカメラマンに感謝する事もあります。

青い空にポッカリ浮んで群れから離れてひとりで走っている雲が私は好きです。少年の頃、武庫川の川べりに寝ころんで、そんな雲を見つけては、ひとりで泣いていました。

私は身体障害者です。身体障害者四級の手帖には左手指機能障害とかいてあります。生后八ヶ月のある日、青森の自宅のいろりの火をつかんで左手が親指以外はコブシの様に固まったのです。野口英世そっくりなのです。

青森から神戸へ転校したのが小学校二年です。テレビで標準語が普及している現在と違って、それは外国へ行ったようなものでした。

言葉は通じずこの手です。カッタイ、カッタイと馬鹿にされました。家へ泣いて帰るような事はしたくなかったので、川原で雲を見つけて泣いたのです。

しかし私はかなり優秀でしたから間もなくカッタイの嘲声も聞かれなくなりました。そして小学校を卒業して中学への入試です。旧制中学でまだ高校制度がなかった頃です。昭和十七年、日本はまだ太平洋戦争に勝っていた年です。私は甲陽中学を受けました。今の甲陽学院です。試験が終ってみんな帰った後も私ひとりだけ残されて鉄棒や跳び箱をなんどもやらされました。そして結果は不合格です。目の前がまっ暗になりました。小学校の担任の先生が甲陽中学とかけ合ってくれました。成績は三番で入っていたのです。手の為に陸軍の配属将校がガンとして反対したと云うのです。

父は輸送船の船長でした。戦争へ行ったきり何処にいるのかも判りません。小学校五年生の時の担任だった上村と云う先生が私を阪大の竹内と云う教授の家へつれてゆきました。

その一年は高等小学校へ籍をおいて、阪大での連続の手術に入ったのです。一回目は手を腹に植え、二度目はそれを離し、三回目からは一本の指ごとの整形のはずでした。四回目の手術の為に手術室へ入ったら、今日は又腹に植えなおすと云うのです。両手両足を縛られオチンチンまるだしの少年は顎然としました。手術室に人が入るわずかなスキ間から外で待っていた母を大声で呼んで私は手術を中止して貰いました。これは大変な勇気が必要でした。

手なんか直らなくていい、俺には右手がある。中学なんか入れてくれなくていい、俺は絵描きになる。と思っていましたが反面俺は中学すら入れないのかと思うと涙がにじみ出ました。

阪大へ毎日通って午后はよく天王寺の美術館へ行きました。藤田　治、宮本三郎などの大作に驚ろきました。そして何度も何度も行きました。

中学へ行った友達と遊ぶことも出来ず、武庫川の川べりで雲を見る日が多くなりました。

一年たって又受験です。私は甲陽をあきらめていました。灘中の教頭だった人が灘をやめて新らしく作った高槻中学を受ける予定でした。そんな頃ヒョッコリ父が帰って来ました。父もひどく心配していましたが二、三日して甲陽を受けろと云うのです。大丈夫だから、俺がもう入れて来たから甲陽を受けろ、と云うのです。父はそう云い残してラバウルへと航海に発ちました。ラバウルへの航路は命がけの頃でした。父は自分の命と引き換えに何をしたのか知りません。私は待望の甲陽中学へ入りました。入学祝いに貰った油絵の具箱をかついで甲陽へ通ったのは、ホンの少しでした。

青い空の白い雲の上空にB29があらわれ初めたのです。そして私は学徒動員で工場通いでした。

まっ黒に焼けた神戸の街を威圧する様に流れて行ったあの日の雲は今も忘れません。「雲のいのち」にあの頃気づいていたのかも知れません。

▲東宝映画「宇宙大戦争」(昭34)の雲も成田先生によって描かれた。

▲V3、1号、2号の背面ディテール。V3の衣裳は背面にファスナーがある。

▲「仮面ライダーV3」前半のテレビタイトル。

仮面ライダーV3の愛車ハリケーン。ダブルライダーからの贈り物で、時速600kmという設定。

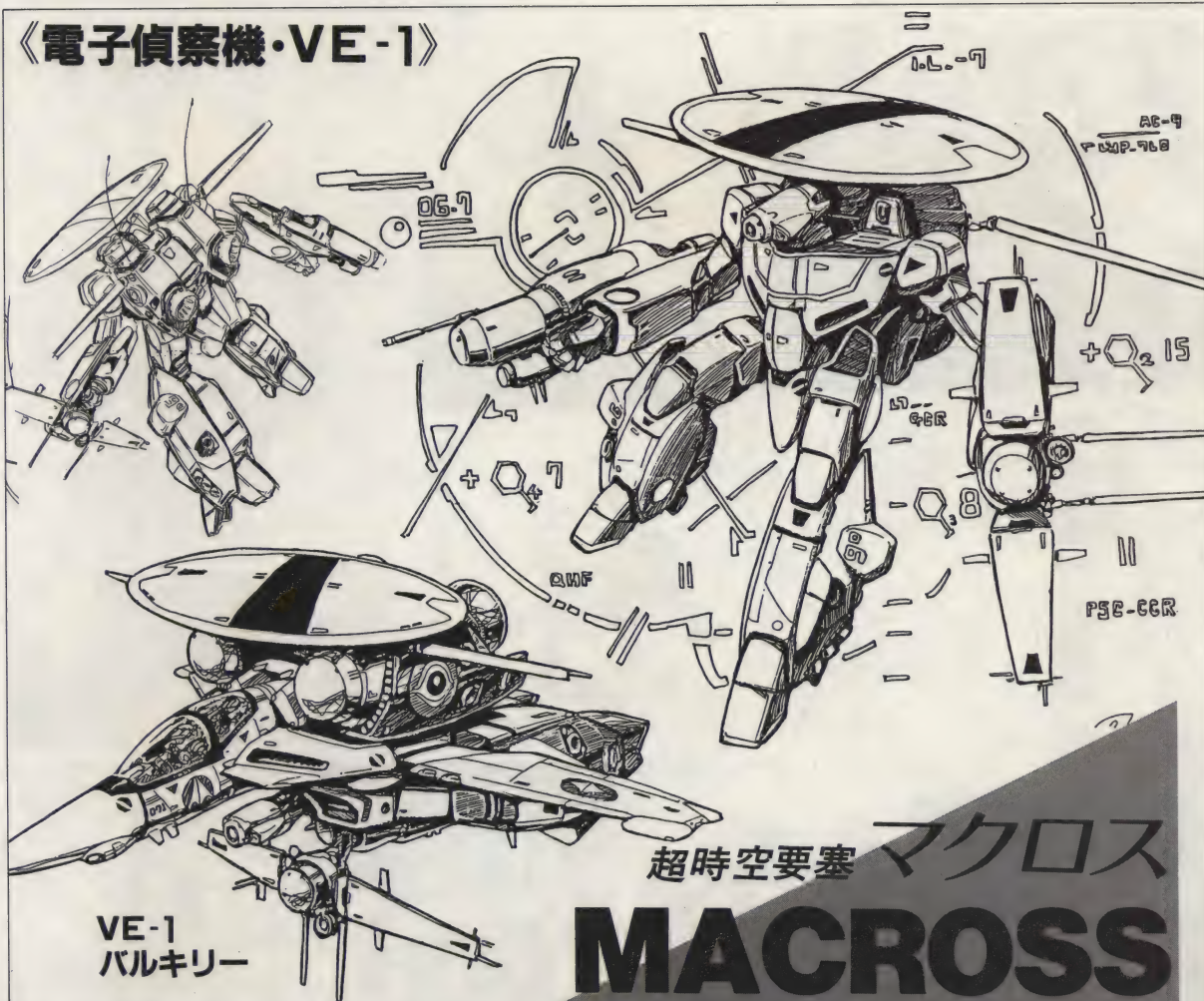
●放映期間／昭和48年2月17日～49年2月9日(全52話)、●製作／東映、●放送局／毎日放送、●スタッフ／原作・石森章太郎（掲載・テレビマガジン、たのしい幼稚園、冒険王、テレビランド）企画・平山亨、阿部征司、音楽・菊池俊輔、脚本・伊上勝、鈴木生朗、滝沢真理、島田真之、海堂肇、監督・山田稔、奥中惇夫、塚田正煕、田口勝彦、折田至、内田一作、技斗・大野剣友会（高橋一俊）、●出演／風見志郎・宮内洋、結城丈二・山口暁（豪久）、本郷猛・藤岡弘、一文字隼人・佐々木剛（1、2、21、33、34話）、立花藤兵衛・小林昭二、珠純子・小野ひづる、珠シゲル・川口秀樹、デストロン首領の声・納谷五郎、ナレーター・中江真二

〈仮面ライダーシリーズ第二作。本郷猛の後輩にあたる城北大学の学生風見志郎は、1号と2号によって全滅させられたゲルショッカーにかわってあらわれた謎の組織、デストロンによる人間消失事件の現場を目撃する。そのことから、風見は命を狙われ、怪人ハサミジャガーによって家族まで惨殺されてしまう。ダブルライダーは改造人間破壊光線をあやまってあびてしまった風見の肉体を改造、3号ライダー、仮面ライダーV3としてよみがえらせた。〉

◀第１話、２話のデストロン怪人、ハサミジャガーとカメバズーカ。初期の怪人は、〝動物＋武器〟のパターンだった。
▼変身ヒーロー物には欠かせない俳優、宮内洋。スバット、アオレンジャー、ビッグ・１……。

▲43話から登場するライダーマンは、もとデストロンの科学者だったが、ヨロイ元師の罠にはまり、改造人間となってV3に協力するようになる。
◀珠純子役の小野ひずるの水着姿。劇場版「仮面ライダーV3対デストロン怪人」（昭和48年7月18日封切）の「さんふらわあ号」におけるロケスナップです。

ヨロイ一族を支配するデストロン最後の大幹部。怪人ザリガーナに変身する。第41話から52話に登場。（中村文弥）	デストロン３番目の大幹部。ツバサ一族をひきつれ、その正体は死人コウモリ。第35話から40話。（富士乃幸夫）	デストロン２番目の大幹部。キバ一族をひきいる。吸血マンモスに変身した。第31話から35話に登場。（郷鍈治）	デストロン最初の大幹部。ドイツ出身で、最期はカニレーザーに変身した。第13話から30話に登場。（千波丈太郎）

《電子偵察機・VE-1》

VE-1
バルキリー

超時空要塞マクロス

MACROSS

MACROSS

あの衝撃と感動への挑戦

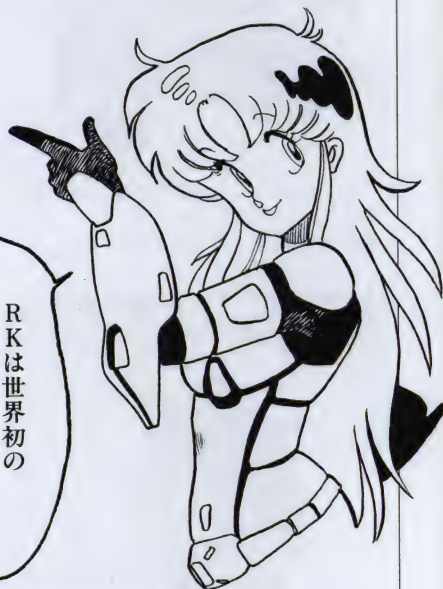
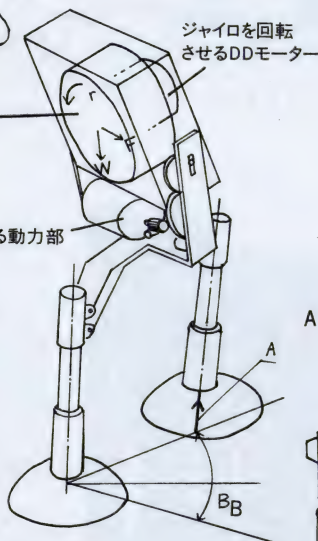
あなたは、「超時空要塞マクロス」がデビューした時の衝撃と感動を覚えていますか!? ストーリー、キャラクターの魅力もさる事ながら、マクロスの最大の魅力は、あのバルキリーというメカに代表されるのではないかと考えます。このたび、バンダイは、そのマクロス・メカワールドに挑戦する機会を得ました。プラモデルという素材で、どこまで、あの衝撃と感動を再現できるか。また、新たな魅力を開発できるか、私たちスタッフは全力を上げて取り組みます。

超時空要塞マクロスTV放映中	放送局	曜日	放映時間
	テレビ東京	木	17:55〜18:25
	テレビ大阪	木	17:55〜18:25
	テレビ愛知	木	17:55〜18:25

新製品まんがレポート サイエンス ロボRK

●マミート事業部　by 北崎拓美

サイエンスロボRK
8月発売予定
小売予価 ￥5,500

バンダイでは、世界初の本格的な２足歩行トイロボット「サイエンスロボＲＫ」を開発商品化に成功しました。この「サイエンスロボＲＫ」は、ジャイロの原理を応用することで、従来困難とされた本格的な２足歩行（遠隔操作により、交互に片足を上げ重心を移動させての歩行、左右の方向転換が可能）を実現したものです。動きのおもしろさ抜群です。

※右図は、左脚が上り右脚を軸に前に回りはじめたところ。

〈サイエンスロボRK原理説明〉

1. ジャイロを回転させるD.Dモーターのスイッチを入れる。
2. ジャイロの回転が上がると歩行OK
3. 脚のモーターにより、左右の脚が交互に上下する。
4. 左図のように左脚が上がった状態を考える。この時、重力によって下向きの力Wがかかる。が、ジャイロがｒ方向に回転しているのでWは90度方向が変わり、Ｆの向きに動く。右脚で全体を支えているので、この力Ｆによって全体はＢの向きに回転して前方に動く。
5. ４とは逆に左脚を軸にして右脚が上がっても同様に前方に動く。
6. 脚部モーターにより、左右両脚を交互に素早く上下させる事により４、と５、の動作を繰り返して前方に動いていく。

8月 新製品

HOBBY

1. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール Zガンダム

機動戦士Zガンダムの主役モビルスーツ、Zガンダムがいよいよ登場です。プロポーションを重視したモデルですから変形はしません。各関節部にポリキャップ使用。武器は専用ビームライフル、ビームサーベル、シールド付。全高138ミリ。
★8月発売予定　★小売価格￥500

2. 機動戦士Zガンダム 1/100スケール リック・ディアス

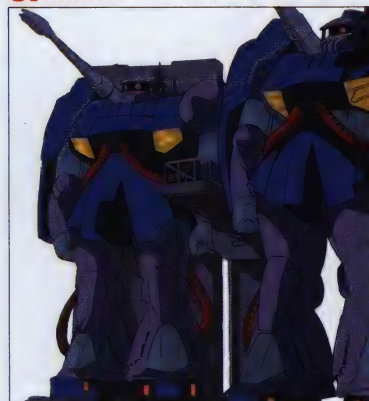
7月発売の予定が遅れてしまい申し訳ありません。シャアが使用したエゥーゴの新開発MS・リックディアスの登場です。関節部はすべて脱着自由で塗装のときに便利です。1/48のフィギュア付。
★8月発売予定　★小売価格￥1200

3. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール マラサイ

連邦軍攻撃型モビルスーツ、マラサイです ビームサーベル、ビームライフル付。
★8月発売予定　★小売予価￥500

4. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール ジムII

エゥーゴと連邦軍の両方で使用されているMS。ビームライフル、シールド付。
★8月発売予定　★小売予価￥400

5. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール ザクキャノン

第11話に登場したMS。本来は陸戦用だが、宇宙用に改造されたもの。外観は変化なし。
★8月発売予定　★小売予価￥500

6. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール ザクタンク

第12話で登場した特殊MS。ポリキャタピラ使用。上半身可動。
★8月発売予定　★小売予価￥600

7. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール ザク強行偵察型

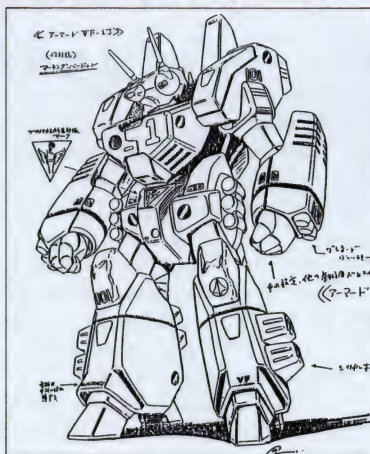
第10話で登場した偵察を任務とするMS。全身カメラのかたまり。
★8月発売予定　★小売予価￥500

8. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール グフ飛行試験型

第12話に登場したMS。グフの飛行試験タイプ。
★8月発売予定　★小売予価￥500

お知らせ

MJマテリアルやペーパークラフトの直送をご希望される方、お申し込み先が変更になりました。●〒424 静岡県清水市西久保305 ㈱バンダイ静岡工場「MJ別冊」係です。尚、模型情報の定期購読、バックナンバーは従来通りです。(MJマテリアルNo.6・No.7は送料込みで700円、1/100ギャリアは送料込みで800円です。)

20. 超時空要塞マクロス VF-1Jアーマードバルキリー

マクロスのプラモデル、いよいよバンダイより登場です。
★8月発売予定　★小売予価¥300

21. 超時空要塞マクロス VF-1Jバトロイドバルキリー

★8月発売予定　★小売予価¥700

1. MJマテリアルNo.6 機動戦士Zガンダム②

大好評のメカ設定&作例集に続き「キャラクター設定フィギュア・名場面集」の発行です。質の高いフィギュア作品とディオラマ作品で名場面を再現した、MJ編集部ならではの構成となっています。また30話までの登場人物のスケジュールを一覧表にするなど、Zガンダムの最高の手引き書です。
★8月中旬発売予定　★小売価格¥560

2. MJマテリアルNo.7　クリィミーマミ
★8月中旬発行予定　★小売価格¥560

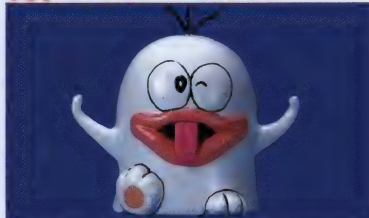
3. ペーパークラフトブック①1/100ギャリア
★8月中旬発行予定　★小売価格¥600

13. キン肉マン2体セット

キン肉マンの2体セットです。接着剤不要
●No.15　キン肉マンとキン肉マンマリポーサ
●No.16　キン肉マンソルジャーとキン肉マンゼブラ●No.17　キン肉マンスーパーフェニックスとキン肉マンビッグボディの組み合せ。
★8月発売予定　★小売予価　各¥300

14. ポケッタ改シリーズ

先月に続き、ポケッタのドレスアップバージョンが登場です。種類は、●トヨタ・カローラII　●ニッサン・エクサ　●ミツビシ・ミラージュ　●ホンダ・シティ　●マツダ・ファミリアの6種。強力バックゼンマイで走ります。
★8月発売予定　★小売価格　各¥200

15. オバケのQ太郎

犬を引くとゼンマイが巻かれ、Qちゃんが走ります。舌が出たりひっこんだりします。
★8月発売予定　★小売予定¥400

16. トラック野郎シリーズ

- ●1/48　夢街道
- ●1/48　さすらい超特急
- ●1/48　男の浪漫
- ●1/48　熱血漢
- ●1/48　戦国風雲児
- ●1/48　竜虎激闘

★8月発売予定　★小売予価　各¥1,400

18. H.C.Mバルキリー VF-1J

★8月発売予定　★小売予価¥2800

19. H.C.Mバルキリー VF-1A

★8月発売予定　★小売予価¥2800

9. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール ジムキャノン

第12話に登場したMS、ジムをベースにキャノン砲を装備したもの。
★8月発売予定　★小売予価¥400

10. カワルドスーツ ガンダムMkII

人気のMSが予想外のおもしろ変形しますギャグ心がいっぱいのキットです。
★8月発売予定　★小売予価¥300

11. カワルドスーツ ハイザック

ガンダムMkIIに続いて登場。おもしろ変形してコロがし走行で遊べます。
★8月発売予定　★小売予価¥300

12. ロボチェンマン チェンジロボ

デフォルメ・チェンジロボが、バックゼンマイで走ります。イロプラ使用。
★8月発売予定　★小売予価¥400

エモーション・ビデオフォーラム

EMOTION VIDEO FORUM 出張版

●ダロス総集編「ダロススペシャル」いよいよ登場!

文字通り世界初のビデオ用オリジナルアニメである「ダロス」全4話が再構成されて発売。

月面の裏側に築かれた謎の巨大メカ、ダロス。地球の植民地政策に業をにやしたルナリアン（月面人）達の武装蜂起がそのダロスを中心に展開されるや、管理局のアレックスはダロスの破壊を決行する。しかし不気味に自己復活し、謎のパワーを発動するダロス。ルナリアンの戦闘マシン、BEMアタッカーと、アレックスらの変型戦闘車、デバッカー、そして月面降下兵らが死闘をくり返す中、天をも切りさく怪光線で敵も味方も粉砕するダロス。

人間の行為などあざ笑うかの様に存在するそのダロスをめぐる迫力あるドラマで、アニメ界にオリジナルビデオという新ジャンルを切り開いたこのダロスを、エモーションでは見やすい全一巻の構成としました。しかし、各30分計4話120分のこの大作をそのままつなげただけでは、通して見た場合に一つの作品としてのメリハリが弱い構成となるため（つまり1話ごとに起→承→転→結があるテレビシリーズの様な構成であるので、単につなげると、起承転結、起承転結のくり返しとなってしまうので）、ストーリー構成を全1話用に再構成することとし、全90分という結果になりました。その構成については、「ダロス」の原作者であり、脚本、演出をなされた鳥海永行氏（最近作「エリア88」）があたられます。また、音楽、効果、そして一部アフレコもヤリなおすことになりましたが、音響監督は、「風の谷のナウシカ」や「うる星やつら」の斯波重治氏です。無論、オリジナル4話の監督である押井守氏（現在「天子の卵」を製作中）の迫力ある演出もたっぷりと御覧いただけます。

ジャケットイラストは、あの天野嘉孝氏でステレオHifi録音という豪華版。「ダロススペシャル」は8月5日、13,80円で全国一斉発売になります。

いよいよ登場の「ダロススペシャル」。この写真は、30分版のジャケットイラストです。「スペシャル」は天野嘉孝氏描きおろしのオリジナルイラストジャケットとなります。

●エモーションITCレンタルフリー記念アイテム「サンダーバード&ITCタイトル集」発売

前号でもお知らせしました様にITCの作品のビデオが、8月1日をもってレンタルがオープンとなります。その作品群とは、スーパーカー、宇宙船XL−5、海底大戦争スティングレイ、サンダーバード、キャプテンスカーレット、ジョー90、謎の円盤UFO、スペース1999、プリズナーNo.6、そして8月28日登場のサンダーバードの総集編「コンプリート・サンダーバード」（前号でお伝えしたサンダーバードブルーパーズの改題。庵野秀明氏構成）の各タイトルで、違法にコピーしたものでない限り、現在販売のみとなっているビデオテープが、近くのレンタル店で合法的に借りて見られる様になるわけです。

エモーションではそれを記念して、前々から御要望の非常に多かった、これらITC作品群のオープニング、エンディングタイトル集を企画しました。

これは、上記作品群はもとより、ビデオテープ化されていない、ロンドン指令Xや、プロテクター電光石火のタイトルをも収録し、従来ITC作品テープのオマケとしてついていたTVタイトルとはなるべく異なるタイプのオープニング、エンディングの原語版タイトルを年代順につないだもので、日本未放映、またどんなITCマニアも持っていないタイトルをも収録した画期的アイテムなのです。

また、プリズナー、プロテクター以外の作品の音楽はすべてバリーグレイの作曲であり、実質上、彼の音楽ビデオとも言えるビデオです。

30分、7,800円のこのアイテムは、一般店ではお求めになれません。ITCフェア開催店（情報がはいり次第告知します）もしくは通信販売となります。通信販売は、住所、氏名、年齢を明記の上、送料500円を添えて下記まで現金書留にてお送りいただければ商品を発送させていただく形式で行なわさせていただきます。なお、一般郵便にての現金の送付につきましては、事故となりがちですし、責任を負いかねますので、必ず「現金書留」の手続きでお送り下さい。

（あて先）　〒150　東京都渋谷区神山町10番地3号　ネットワーク神南ビル　㈱AE企画　ITCアイテム通販MJ系

7月28日に発売された「サンダーバード日本語版（「ペネロープの危機」「太陽反射鏡の恐怖」）には、なんと現在絶版中の「ミニサンダーバード2号」のプラモデルがついているのだ!

7月をもって生産を中止した、旧「ロンググッドバイ」ジャケット。8月からは全く違うジャケットの劇場版の登場となります。9月にはカーテンコール版も登場。

●クリィミーマミ・アイテム続報

大好評のうちに迎えられたオリジナルビデオ「ロンググッドバイ」が、「ミンキーモモ・夢の中のロンド」と併映で劇場公開中ですが、絵コンテ付マミビデオは7月で生産を中止、8月からは、高田明美さんの描きおろしジャケットによる「劇場公開版」に切りかわります。こちらは280ページのマミブックはつきませんが、店頭プロモーション用予告篇や、劇場公開に際し製作された、マミ、モモ共演のごあいさつシーン等が収録されており、前回の53分が60分と少々長いタイプとなります。

エモーションには毎日、たくさんのマミファンの手紙が届いていますが、「もう1本作って!」という声が大半です。しかし、マミは一応終わり、というスタッフの声もあり、オリジナルストーリーの製作は無理。そこで、コンサート終演後、「もう1曲」というアンコールにこたえて、スターが歌う様に、マミのアンコール版として「クリィミーマミ・カーテンコール」を発売することとしました。これはマミのミュージックビデオ版で、前作「ラブリーセレナーデ」と同様、名場面をちりばめた構成なのですが、今回はオリジナルマミのメインスタッフ、伊藤和典氏、望月智充氏に、高田明美さん、後藤真砂子さんが加わって製作しますので、すこぶる面白いアンコール版となります。もちろん新作オリジナル10分が加わり、全45分となりますし、太田貴子の新曲2曲と、島津冴子の新曲1曲も収録された豪華版です。　9月28日、7,800円(予)にて発売。マミは本当に、これが最後です。

次号では、エモーションのオリジナルビデオの次回作、日本サンライズの「ダーティペア」についてお伝えします。

次号では、エモーションのオリジナルビデオの次回作、日本サンライズの「ダーティペア」についてお伝えします。

（あて先）

〒150東京都渋谷区神山町10番3号
ネットワーク神南ビル
㈱AE企画
ITCアイテム通販MJ係

プラモ個性派倶楽部 VOL.7

いよいよ夏真っ盛りですナ。この夏休みの計画は、いかがな物でしょう。やっぱりプラモ作りに終ったりして。

■実験の価値あり

5月号で山富君が、ポリ部品の塗装法で悩んでいたけど、色を塗るのがだめなら染めるという方法はどうでしょう?

通用するかどうかは解りませんが、ラジコンではナイロンパトウの強度を上げるために、お湯で煮ます。その時に一緒に染料を入れてパーツを染めます。色の種類は少ないけれど、一度試してみて下さい。

大阪府堺市　榎並　仁

成る程、染めるというのは仲々良さそうなアイデアですね。但しラジコンのナイロンパーツと同様に、ビニールのパーツが染ってくれるかどうかは、ちょっと不明です。このコーナーでも試してみますが、この方法に関する皆さんのミニレポートも募集します。（そう言えば、この間ナイロンのショルダーバッグを、ダイロンのアクリルブラックで染めたから、ちょっと実験してみようっと。　小田）

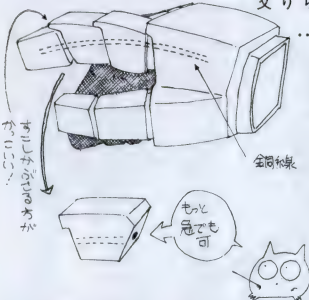
■工夫したです。

塗装した後に、デカールを貼るとすぐにはがれてしまうので、塗装する前にカセットテープなどによく使うレタリングシートを貼ります。（以下左図参照）それから塗装をします。それからセロハンテープで数回貼ったりはがしたりすると、キレイに文字が出てきます。

千葉県市川市　山川　信二

デカールがはがれやすいかどうかは別としても、暗い色の上に明るい文字を、という場合、役に立ちそうです。上から暗い色をかける場合に塗膜が薄くても、つぶれますからね。

■エポパテコントロール

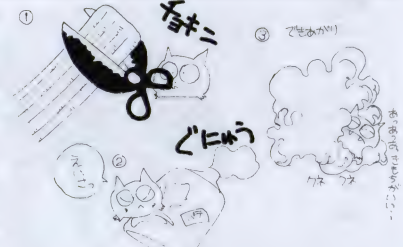
皆さん今日は、4月号ではがきが少ないと書いてあったのでペンを取りました。

実はエポキシパテの事です。現在数社から発売されているエポキシパテは、我々にとってちょっと財布に消費するには、ちょっと財布が……（学生さんは辛いのネ）

そこでいかにしてエポキシパテを節約するか。エポキシを1に対してプラパテを3～5混ぜるのです。これならエポキシの長所（形が作りやすい）とプラパテの長所（ヤスリがけをしやすい）がうまくまとまってバッチリです。

大阪市旭区　岡本　博

まったくその通りです。ただし細いパーツでは、もろくなるので注意。

■今月も指について

こんにちは、部活をしている時に思いついた（編集部注／?）テクニックを紹介します。Z・GUNDAMのシリーズに使えそうな方法です。この指は銅線を芯にしての可動ですが（イラストC参照）、そのままではちょっと無理があるので、図を見て形を整えて下さい。そうすればサーベルやライフル等の武器が自由に持てるようになります。

富山県射水郡　新田　衛

「可動指」に関しての考察ですが、指がはずれる、はずれないと言う、遊びの上での耐久性については、少々弱いのでは?しかしながら、フリーに位置を固定するのには非常に向いていそうです。指の「返し」防止が仲々良いセンスだと思います。

■リックディアス

（イラストD参照）

横浜市のペンネーム、れっどしょるだあのお杉さんが送ってくれたのは、1／144リックディアスのヒザ関節改造案。ヒザ関節とフレア内部のフレームのジョイントをフリーにして、ヒザの曲がり角度を大きくしようというプランです。しかしこの状態では、スッポリ抜けてしまうのと、動きがストップするリミットが定まっていないのが、玉にキズ。できればカバー側のジョイントに長方形のスリットを切って、角棒側にはめてから、角棒にピンを立て、スリットの長さ分で移動範囲を決定するようにすれば、確実な物となるでしょう。

尚この方法は脚の内側にフレームがのびている場合には、かなり楽な改造で済ませる事が出来そうです。（アーマーと関節の受けが、一体となっている物の場合は、フレームを自作する必要あり）

■！

前略、エポキシパテは固まるのがとにかく遅い。そこで僕は考えました。冷蔵庫の冷凍室の中に入れてやります。すると20分もしないうちに半分位固まります。その時にカッターで削り、また入れておきます。いそがしいモデラーの皆さんにはとっておきの話だと思います。だまされたと思って一度試してみてはいかがでしょうか。

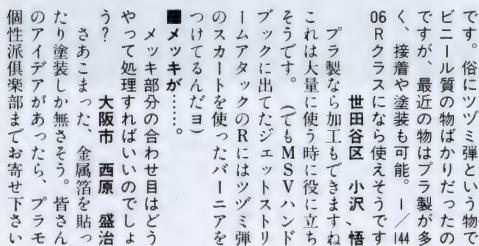
大阪市東住吉区　喜多　忠雄

低温では反応が鈍るのでは?と思っていましたが、これも実験の要ありですね。

■ヤスった後に

ぼくはヤスった後に、歯磨き粉を使用しています。手順は歯磨き粉2に対し、水1の割合いで混合します。それをティッシュ等に少量つけて、ヤスった表面をこすってやります。この後サッと水で洗い流し、布でふきとってやると削りカスが落ちてつやも少し出ます。どうでしょうか?モデラーの皆様方……。

横浜市　港北区　迫田　充人

東京都稲城市　森川　隆司

この場合、歯磨き粉は一種のコンパウンドの役目を果しているわけですね。できれば水洗いの時に中性洗剤を筆につけて、表面を洗ってやるとなお良いと思います。コンパウンドにも、チューブ入りの練り状の物から液状の物、特に最近は水洗いのできる特殊な液状コンパウンドも発売されている様です。

■オリジナルノズル

このところバーニア等の自作の仕方が話題になっているようですが、仲々良い物を見つけたので、お知らせします。それは組み立て式スプリングガンの「弾」です。俗にツヅミ弾という物でビニール質の物ばかりだったのですが、最近の物はプラ製が多く、接着や塗装も可能。1／144 06Rクラスになら使えそうです

世田谷区　小沢、悟

プラ製なら加工もできますね。これは大量に使う時に役に立ちそうです。（でもMSVハンドブックに出てたジェットストリームアタックのRにはツヅミ弾のスカートを使ったバーニアをつけてるんだヨ）

■メッキが……。

メッキ部分の合わせ目はどうやって処理すればいいのでしょう?

大阪市　西原　盛治

さあこまった、金属箔を貼ったり塗装しか無さそう。皆さんのアイデアがあったら、プラモ個性派倶楽部までお寄せ下さい

プラモ個性派倶楽部

今月はすごいぞ〜!!

右の2点は、宮崎県の原田正彦さんの作品エルガイムMkIIとバッシュ。スケールデータが不明なのが残念ですが（多分1／144）、ともにしっくりとしたバランスが素敵な造型です。殊にエルガイムMkIIのまとまり方は、非常に安心感のある物として受けとれますネ。

同じく原田正彦さんによる、ブラッドテンプルNo.8。いやあ、ついに来てしまいました禁断のテンプルシリーズ。つくりの細やかさが実に好感の持てる作品です。次回作はエンペリアル・テンプル？

芦屋市の中塚和弘さんのは、ブラッドテンプル（オージェ＋Aテンプル）とエンペリアルテンプルを意識したオリジナル（設定載せられなくてゴメン）。

横浜市の東条孝さんのオリジナルH・Mディザーズ改オーウェン。

福岡市の矢吹謙太郎さんのアトール。全関節可動のスクラッチ。

千葉県の舟本光伸さんの作品はオリジナルオージェ。もう少し工作でメリハリをつけてみては？。

東京都世田谷区の千葉泉さんの作品は、エルガイムMkII（ブラッドテンプルNo.3ですかナ？）の頭部に息づく〝ファイマ〟のオブジェ。絵のような立体の様な、実に魅力的な造型です。写真が不鮮明なので、タッチがわかりにくいのが少々残念な所。美術造型的なとらえ方に気づかれたのは実に見事。これからの作品に是非期待したいところです。

北海道の川又泰二君のバル・ブド改〝クレージーホッパー〟。

茅ケ崎市の渋谷浩康君のオリジナルH.M〝ツリロン〟4本腕の恐怖!?

明石市の川崎吉弘さんのアモンデュール〝スタック〟。

神戸市の長船達矢さんの1/144エルガイムMkⅡ。仲々手が入ってますネ。

なんとフルスクラッチ1/100ガルバルディβ。千葉県習志野市の鈴木健二君の作品。キット化されるのが解っていながら作ってしまうという、このエネルギーがスゴイ！　もう少し工作と塗装を勉強してネ。

埼玉県越谷市の市川達浩さんの作品は、フルスクラッチビルドの1/144マラサイ。工作がもうあと一歩ですが、カラーリングのタッチが、実に落ちついていて好感の持てる仕上りですね。

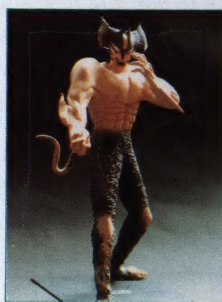
ウームのゼータ・ガンダムスクラッチは鹿児島県の酒匂博文君の作品。(手が早いナァ) 右は尼崎市の原田好敦君のガンダムMkⅡ。

なんと高校の先生をしていらっしゃる中島博司さんから送っていただいたのは、1/144パーフェクトドム。右は埼玉県の青木浩和君の1/144フルスクラッチガンダムMkⅡ。ダグラムをベースにしているのはアイデアですね。

香川県　高松市　大野　博典

水戸市の鴨志田兵則君が送ってくれたガチャポンエルガイムパノラマ。しかしまあ、ちっちゃいのがゴチャゴチャと……。バックのMJスターが泣かせますねェ。

右は宇都宮市の清水志信さんの作品「うる星やつら3リメンバー・マイ・ラブ」より1/15デート服のラムちゃん。(早いですなァ) 左は小金井市の中務雄一君の22cmデビルマン。エポキシパテとポリエステルパテによる造型。「新・図説高等保健」という教科書が役に立ったそうです。

Z GUNDAM

今月はヘビィメタルの嵐！凄い作品がたくさん来ました。課題もヨロシク。宛先は〒474静岡県清水市袖師町702　プラモ個性派倶楽部まで。

ふろーむ

少年&少女

▲静岡県／住吉賢治

N EW★DOKANIIですよ！当サークル「NEW★DOKANII」は、現在会員を募集しています。アニメ・特撮・オリジナル・ガレージキット等々なんでもあつかっています。特にバイファム・ガリアン・マシンマンその他ヒーロー特撮の好きな方、60円切手を下の住所まで送ってください。入会案内書を送ります。おっと、案内書を申し込む時に、先にあげた4つのうちどれが好きか書いといてね！

■連絡先／〒211 川崎市中原区木月祇園町258 角田荘工藤方 NEW★DOKANII(も)係

★どんなサークルなんですかね。MJ編集部にも入会案内書を送ってね。MJは、みんな好きだぜ。

ダ ンバインの絶版について一言いいたい。ダンバインシリーズは再販するべきだ。ましてシリーズは中途半端に終わってしまった。また、ザブングル、エルガイムもやはり中途半端な感じである。商売的には成立しないのかもしれないし、ましてガレージキットに押しまくられている今日このごろではあるが、最近のバンダイは中途半端がよく目立つ。終ってしまった番組でもファンがいることを知ってほしい。ガンダムなんか終ってから人気がでたではないか。また、バンダイのキットは地方の我々には機をのがすと入手が非常に困難でもある。とにかく再販しないなら、MJマテリアルでもいいからダンバイン、ザブングルはとり上げるべきだ。また1／72ビルバインは、ハイコンプリートモデルでだすべきだし、エルガイムのCテンプル、アローンは絶対キット化すべきだ。商売的にも成立すると私は思えてならない。

岐阜県／小川 人広

★エッ、ダンバインって絶版なんですか？85年版カタログにも載っているしまだ生産予定ありますよ。

前 略 望む再販！といっても最近の2～3年に絶版になった物はさて置き、ここではかれこれ10年以上前の作品にスポットライトを当てていただきたい。例えば、ホバーパイルダー、ルナキャリア!! 不細工な製品が平然と横行していた時勢の中で、斯様な艶かなるプロポーションを誇ったキットが現在埋れていることは誠に勿体無い。その他にも、スーパースワロー、コンドルー等、一連のウルトラマニタロウシリーズ（小生は未だに所持しております）。これらは現在の目で見ても充分美しいっ！ガキの頃、小遣いを満足に持てなかった小生が涙をのんで見送ったこの無念は今日でも尾を引いているのであります。（サイクロン号なんて見かけることができただけで有難いことでした）「昔の単純なメカくらい、簡単にスクラッチできるでしょっ」なーんて無粋な事は言うなかれ。個人には小松崎茂先生のボックスアートまでもいとおしいのですから。それに、マークシールなどやはりメーカーに頼らざるを得ないところは多分にあるのです。昭和56年にインターセプター再販の知らせは、どんなに小生を歓喜させたことかっ！ところが、ルナキャリアは金型に不備があり、再販できないとのコメントっ！（S・57・4・MJより）これは一体どぉーゆうことかっ！ 会社の財産である金型にトラブルが何故ありえるのか、甚だ疑問でありますっ！ 話を元に戻します。一方的に再販しろと言っても、メーカーは困惑するだろうから、そこで提案です。「再販希望No.1」なる賞を新たに加えることによってその目安にしてはいかがだろうか。MSVけっこう、ヘビーメタルけっこう。それらのおかげでバンダイの模型は進化（進歩ではない！）したのだから。しかし、幼少の頃、一世を風靡したキットの再販のほうも考えてくれてもいいのではないか。（酒礼のつもりでもよろしいんです。お願いだよー）それでは1／100ウォーカーギャリア模型化を期待しつつ。忍忍。

追伸 小生は開田裕治先生の大ファンであります。氏の描くところのオーラバトラーは唯々感動するばかり。2回連続のBEST BOX ART賞第1位に輝くのは皆の認めるところ。新しいZガンダムのモビルスーツにも氏のイラストレーションをボックスアートに使って下さい。ところで、ガイガンは中止でしょうか？（もしそうなら、また非難の嵐ですな）真相を模型情報誌上で御連絡下さるように。

神奈川県／倉上 真輔

★7月号での再販報告は、ご覧いただけましたか？また、ガイガンは中止になりそうです、いろいろあって……。

記 念すべき20回目のハガキです。前略 僕から貴社へ注文を出します。没プラ対策ですが、MGのMJ出張版を見ると没プラをプラモ化してくれ！とは言えなくなりました。しかしもっと没プラのメカを大事にして欲しいです。できればガチャポン化して欲しいのですが、それも無理ならせめて有名モデラーにフルスクラッチを依頼してMJに載せるぐらいはしてやってほしいです。僕はVIFAMのARVシリーズが良いから没プラにこだわります。ZGのどうせプラモ化するメカのフルスクラッチなんか載せなくってもいいじゃないですか。フルスクラッチったって時間がかかるし技術もないので、受験生の僕にはとてもできません。がディソやギャドルは見たい。せめて写真だけでもいいからプラモを見たい。こんな気持ちをかなえてはくれないでしょうか。毎月1機、没メカをMJに載せてください。

〃ARIVEが見たい！ 大河原先生お願い！〃

神戸市／ななしの〇ン〇

★サイコガンダムに対しては、いろいろ意見が分れますが。TVの中では実にカッコ良く描かれていたね。

▶千葉県／一心堂

バ ンダイさん、久しくおたよりします。ところで突然ですが、読者のみなさん、このごろZガンダムに何か感じることがありませんか？そう！変型ですよ。変型MA（MSかな？）僕が思うに、あれははっきりいって邪道です。〃ガンダム〃のあの重厚なリアルなストーリーに、世界に、変型メカはどう見ても不自然です。別に僕は変型メカが嫌いなわけではないのですが、Zガンダム第1話には、〃これぞガンダムだ！〃と思わせるものがあったのに、第10話のあのメッサーラの出現でその思いは見事なまでに打ちくだかれてしまったのです。しかも（バンダイさんには悪いのですが）、第17話から超巨大無茶苦茶変形MS〃サイコガンダム〃などという（ガンダムワールドの中では）邪道の象徴のような異物を登場させるそうですが、そうなると、もうこれは〃ガンダム〃ではなくなってしまうような気がしてならないのです。これは僕の〃今〃のZガンダムに対する完全な独断と偏見です。勝手なことばかり書いて本当に申しわけありません。

話しは突然変わりますが、ついに、ついにやりましたね！バンダイさん。僕は実にうれしいのですよ。何がって？決まってるじゃありませんか！〃フィギュア・シリーズ〃のことですよ。この記事を読んだ時、僕は読み間違えではあるまいかと二度も三度も読みなおしてみたいのです。やはり本当にやってくれるのですね。バンダイさんの良いところは、こういう時代の最先端をうまくつかんでいることと、奇抜なアイディア、オリジナリティです。

では、これから発展していくフィギュア・シリーズとバンダイさんの今後の御活躍を祈っております。それではまた。

神戸市／岩崎 義久

★よくわかりました。あなたの希望はいつの日か応える様、前向きに善処します。（まるで政治家の答弁じゃ）

▲栃木県／小川寿弘

み なさんこんにちは。バンダイ様こんにちは。遂に待ちに待ったメカニカルファイルバインダーが出るのですねえ。本棚でリングが重い、曲がってしまうなどというファイルたちの悩みはなくなりますでしょう。MJ6月号を見る限りでは、〃1〃となっていますが、〃2〃以降も企画されているのでしょうか。ファイルというとZガンダムシリーズのキットにはファイルがないのですね。僕はこれが目当てな……（冗談）。とにかく1／100スケールには付けてほしかった。今なら少しか出てないから間に合います。ガンバレ、やけにファイルのことで時間を食いましたが、Zシリーズはキット自体がとても良いと思います。石橋さんのB・Aもいい。さっそくハイザック1／144をつくってみたんですが、はっきり言って1／144のザクのベストモデルです。腕から胸のパイプがダメだけど。しかし、そのパイプもカッターで個々に切断し、中に針金を通すことによってらしく見えるでしょう。（まるでプラモ個性派みたい。H・C・MのガンダムMkIIからパッケージのデザインが変わるそうですが、個人的に3月号の宮田さんの様なものを期待してます。でもMkIIにはバズーカ、フライングアーマー（まさか！）etc、はついていないのでしょうねえ。しかしボンボンによると、Zの武器セットが企画されてるそうなのでうれしい。やっぱりH・C・Mはギミックに大期待しましょう。話は昔に逆のぼりますが、楽しみにしていただけにとても残念です。MJ別冊③エルガイムには全く感動したんですけど、Zガンダム、エリア共々前作が良いだけに期待です。スパイラルフロー、じゃなかったスパイラルゾーンも出して下さい。6月号の河村さんの意見に僕は大賛成です。プラモのB・Aもすごいのがいっぱいあります。しかし、それを全部コレクトしているモデラー、あるいはコレクターがいるでしょうか。そんな為にもB・Aコレクションのマテリアルを是非出して欲しい。他にも別冊で出してほしいのがあるのです。MSV、ダンバイン、ザブングル、プリティ・フィギュア②、宇宙刑事シリーズ、ディオラマの作り方などです。これだけ出せれば、MJ専用ファイルの年代シールに〃マテリアル〃というのが付けられるじゃないですか。とにかくMJマテリアルにはどんどん充実させて欲しいのです。おっと忘れましたが、HCMのバルキリーで、スーパーウェポン装着型のは出るのでしょうか。3月に送った「人材企画」のデザイン・イラストの結果が待ち遠しい。どうせ没だろうけど……。（しかし、ボンボンのゼータガンダムデザインコンクールはしっかり〃ギングレコード賞〃をもらったんです）期待、期待、液体（梅雨）の6月に僕のサイフは耐えられるのでしょうか。最後に、MJはすぐ蒸発しますので早めに買いましょう。そして、ナマモノですから早めに読みましょう。では、さよなら。

香川県／さぬきのいっちゃん

★MJはたしかに生モノなんですよね 少しでも鮮度の良いものをお届けするために、今月もガンバリました。

▶熊本県／大塚健

いやあ、ちょっとそこのバンダイさん♡ 聞ーてきーて。スパイラルゾーンすっごくいーんだぜ。こいつぁうまくいけば、3D化はもちろん、ビデオ化（エモーションの渡辺さん♡）映画・TV化、そのうち現実化！するぞ。それからこのZガンダムいーねー。実にいーねー。俺ァこりゃ絶対全機種出ると思うな！ フィギュアなんてボコボコでちまって売れて売れて、ラムみたいに絶版になってば後で再販騒ぎなんてこたぁなんなくて、生産おっつかなくなっちめーよ。でもやっぱ俺ァバイファムのほうが……うじうじ。おそーだ、このエリアちゃん！かわいーねー♡ こりゃ3D化しねーとファンはうかばれねーわな。ついでによー、俺思うんだけど、1／12ぐれーで、No.68のシャアみてーなしぶいのを乗っけたリニア・シートだけのシャレた置きもンを限定でやったら売れんじゃねーかな、オウ、おめぇどう思う？ おっといけねェ、忘れるトコだったぜ。もしよー、ZにMS―06がでたらやっぱ旧ザクって呼ぶのか？ そこの知ってるヤツ！ 教えとくれヨ！ オッ！ オットバイのフィギュアはでねーのか？ バブルキャストモデルってのはどーなっちまったんだ？ オーオー、かわいそうに。06Rがお月さんでないてるぜ。No.59のファイアーボールみてーな専門用語ぞろぞろのページは大好きなんでイ！ おい、たのんだぜ。もっかいやってくれよ。ま、これからも、バンダイの売り上げに協力すっからがんばれや。

千葉県／花田 拓

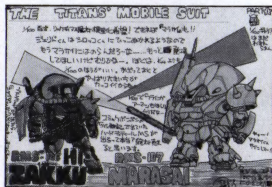
▲東京都／佐々木あつみ

★いやはや、イキのいいお兄さんですな。スパイラルゾーンには注目してて下さい。

はじめておたよりします。Zガンダムいいですね。アニメも、プラモも好調のようで……期待します。さて本題にうつりますが、「スパイラルゾーン」。僕個人としては大賛成です。一時期「ファイヤーボール」と題された企画、記事を何回もよみなおすほどでした。ハッキリ言って、このようなオリジナルがいつ出るのか？ とずっと待っていたほどです。1／12にして36カ所可動いいですねー。布製のスーツ、オプション、オリジナルファンとしては、夢のような話じゃないですか。ここで意見ですが……。まず、プロテクターは、MJで連載されている「スパイラル・ゾーン」の中のものだけでなく、種類を多くすること（バックパックも同様）2つめに、デザートモニター、モノシード、マッドレミング等メカニックもプラモ化を希望します。何かにつけて忙しい貴社とはわかっていますが、ぜひおねがいします。次に、フィギュアですが、キャオ、エマさん、レッシィ、リリス、シーラさま、クワトロ大尉、カミーユ、アウアー、ファラソロレイ（北斗の拳）、チェンジマン、バイオマン、バイクロッサー等、例をあげたらきりがありません。フィギュアよろしく。また、オリジナルにもどりますが……。「ドデカイン」これは、昔、貴社が発売された「ジョイントロボ」シリーズで出してみてはと思うのです。この「ジョイントロボ」と「イロプラ」この2つの要素を合わせれば、すばらしいものになると思います（特にターボーイ）ついでに、この「ジョイントロボ」シリーズで「大空魔神ガイキング」を再販してほしいのです。このおたよりに書いたことがすべてかなえば、僕は「バンダイ」さんのしもべです。手もつかれてきたので、ここらへんでシャーペンをおきます。乱筆乱文ならびにイイカゲンなお願いどうもすみませんでした。

▲千葉県／唐津真弘

P・S どーしてくれます、バンダイさん。貴社のプラモだけで30個以上ですヨ。でも、これは、貴社にとっても僕にとってもうれしい数ですね。テラホークスシリーズもよろしく。100式には、メガバズーカランチャーをつけて下さい。

浜松市／大橋 忍

▲三重県／小林和史

★昔のジョイントモデルを、ハイ・クラシック・モデル（HCM）と名づけて売るってのはどうかしら。

こんにちは、バンダイさん。さてとまずはZガンダムシリーズ、ポリキャップとかで、なかなかです。プロポーションもまとまっていていいですね。新しいMSやMA、どんどん模型化してくださいね。ガンバです。百式はとくにかっこいくね。成型色は黄色なんてことのないように。読者のみんな、まぁみんなよってたかってバンダイさん、いじめるけど、メーカーのキットをもとに自分のイメージを付け加え作っていくのが、本来のプラモの楽しさではないでしょうか。技術はなくても苦労の末には満足感とうれしさがあるはずです。〝できない〟ではなく〝手をうごかす〟なんです。現に僕は6か月もかかってダンバイン1／72をくわんぺきにしようといまだに作っています。みなさん、ひとりのモデラーとしてもう一度考えてください。

青森県／大八 拓也

★最近じゃあ、読者に文句言われるのも快感になってきたぜ。遠慮なく言ってくれ、まってるよ。

バンダイさんが、いよいよフィギュアにのりだすと聞いていきなり驚いてしまいましたー。自分としましては大いに期待しとります。当然メインは女性キャラだと思いますが、男性キャラもだしてください。ガレージキットでもそうですが、男性キャラがあまりにも少なすぎる。か・悲しい現実だ!! えー、個人的に（あくまで）フィギュア化してほしいキャラはといいますと、女性ではガウ・ハ・レッシィ、時祭イブ、高中由唯、ペルシャ、結城沙羅（な・なんてミーハーなんだ）、男性ではダバ・マイロード、ギャブレット・ギャブレー、面堂終太郎、矢作省吾、シャア・アズナブル（Z）――しかし、高価なガレージキットにくらべメーカーさんが安価でフィギュアを出してくれるというのは、ほんとうにすばらしい。スケールはだいたい1／12ぐらいで統一してもらいたいのです。T社の1／6シリーズはあまりに大きすぎて……。ま、なんにしても、ぜったい成功させてください。

P・S 最近ロボットアニメが少なすぎる。いま現在放送しているものといえば、「Zガンダム」、「ダンクーガ」「ビスマルク」の3本のみ貴重なロボットアニメをもり上げるためにもZばかりでなく、ダンクーガも〝よいしょ〟してやってください。バンダイさんから「メガゾーン」のガーランドとハーガン出してくれませんから。

神奈川県／渡辺 隆司

▲千葉県／一心堂

★フィギュア第1弾は、ダーティ・ペア。サイズは1／6。大きすぎるなんて言わないで。

▲愛知県／室町国輝

模型情報 8月号

発行人……山科 誠
編集人……加藤 智
構 成……池田 憲章／岩井田 雅行
小田 雅弘／金田 益実
徳木 吉春／安井 尚志
表紙イラスト……永野 護
写真撮影……サンフォトサービス社
レイアウト……㈱藤森デザイン事務所

▼ひさしぶりに「グループNUTS」の事務所にやって来た。自分の事務所がありながら、最近は他の場所でばかり仕事をしている。事務所のカレンダーは5月のままだった。机にはうっすらとホコリがつもっていた。そして、見知らぬ人が生活していた…？（岩）

▼「エルガイム」に続いて、今度はビデオ「ミンキーモモ」のマテリアルをやります。思えばバンダイとのファースト・コンタクトは、「ミンキーモモ」だったのです。廻り廻ってとはこのことなのですね。期待してね。（徳）

▼我家のシャム猫ボギーが、11才でその生涯を閉じた。とても人なつこい猫だったので、別れはとても辛かったのであります。模型とかイラストに関わる方の中には猫を趣味にしている人が実に多いのです。編集長宅のダイちゃんと、ウチのフィリックス・ド・ダリウス・ドゥーズ（面倒くさいのでダリと呼んでる）は同じチンチラ種で、ともに巨大猫の部類。2mくらいになったらカッコイイだろうなあと思って、ながめている今日この頃です。（小田）

▼8月号の原稿作成と同時に、MJマテリアル〝Zガンダム②〟の作業が終了しました。①がモビルスーツ編でしたが、今回はキャラクター編。フィギュアとディオラマ、そして27話までのストーリーと全キャラが網羅されている全84頁の豪華版です。特にフィギュアは石井和夫、伊藤宏之、千草巽、速水仁司、ひらおかとしえの5人による新作ばかり（G・Kになっているものはありません）是非買って下さい。サイコガンダム以降のMS、MA。戦艦サブメカは〝Zガンダム③〟としてまとめるつもりです。……いけねェ、加藤編集長に相談してなかった。（安井）

▼先日、SFのファン大会で福岡に行ってきた。ラドンが乗った岩田屋デパートはまだあるそうで、空を飛ぶジェット機がラドンに見えたりした。全国の怪獣が壊した建物を見て歩きたいなあ、ヒマになったら。（池田）

▼初めまして、安い蒜（ニンニク）と書いてアンビルと読みます。珍しい名前でしょ、出身は長野なんですが、安蒜という名前は千葉方面に多く生息している様です。バンダイに入社して希望の部署に配属されて喜んでます。MJ読者だった頃の気持ちを大事にして仕事をしたいと思ってますので、読者の皆さんよろしくお願いします。（安）

▼我編集部に、新人スタッフが配属された。編集部の仕事は、MJとマテリアルの編集だけではなく、スパイラルゾーンやフィギュア等の商品企画にも関わっていて、守備範囲が極めて広いだから、仕事はハードだけど変化に富んでいておもしろい。そういう部署で働けるなんて幸せ！だよ安蒜君（加）

★模型情報は模型店・玩具店でお買い求め下さい。尚、当社直送をご希望される場合は、代金（半年間900円、一年間1800円）を現金書留か郵便為替で同封の上、住所・氏名・生年月日・電話番号・何月号から希望するかを明記の上、お申し込み下さい。

●〒424 静岡県清水市袖師町702
㈱バンダイ静岡工場 MJ編集部・定期購読係まで

模型情報 72
模型情報8月号 昭和60年8月1日発行（毎月1回1日発行）第6巻第8号通巻72号 昭和59年10月26日第3種郵便物認可
発行人・山科誠 編集人・加藤智 印刷・小野美術印刷 発行所・〒424静岡県清水市袖師町702㈱バンダイ静岡工場 電話0543(65)5362(代) 定価一〇〇円